

川柳

昼會ひまじ孫夜は湯たんぽ抱いて寝る

佐藤 哲夫

キーボード老いの挑戦拒む指

坪郷 英美子

誤嚥ごえん怖れ餅は見るもの奉まつるもの

永田 政子

厚化粧反応しない検温機

今川 昇

年ですね体がきかず口が先

藤井 絹枝

「国守る」果たして子等こらを守れるや

藤井 節子

俳句

冬うららリンパ体操テキパキと

三戸 志津江

友逝ゆきて寝つけぬ夜や虎落笛もがりぶえ

貞弘 和子

ゴミ出しの一つ残され夕時雨ゆうしぐれ

田中 孝利

並び押す自転車二台寒夕焼かんゆやけ

林 保江

彼方より列車の響き冬銀河

馬場 精作

霜を踏む音も楽しむ散歩道

牛見 航

短歌

退院を喜ぶ夫がひとりより二人がよきと米研ぐそばに

河野 美津子

草の実がしがみつくよう仕事着に家の内外落ちて春待つ

中司 和子

水流しシンクに溜まった皿洗う背中はしっかりワールドカップ

山口 正子

亡き母の愛した短歌を姉二人市広報にて想いを受け継ぐ

河井 美江

飛び乗った路面電車で声かけし人と並んでカステラを買う

弘重 和恵

里池に鴨渡り来て十数羽小魚いるか水はきれいか

原田 みすず

自由律俳句

もみじあかあか白い骨を抱く

小野 芳乃

まほうの言葉で軽くなる心

田中 律子

「煮しめが美味いと夫つま 義母ははの味に」

叶屋 香代子

影は黒猫

田中 里美

同い年補聴器の話に花が咲く

岡部 雅江

ならいごと冬でも毎日がんばるぞ

濱本 なお